

施策評価シートの解説

【基本事項】

施策名

総合計画の基本方針を達成するために推進する施策の柱です。基本方針は7つの柱で構成され、その1つ1つの基本方針はいくつかの施策の柱で構成されています。

総合計画における上位政策

総合計画の基本方針に該当し、市の将来像である“みどり次世代”を実現するために取り組むべき方向性を示しています。

【施策の概要】

目的

何のためにこの施策を推進するのか、その目的が記載されています。

【市民アンケート結果】

平成20年4月に市民の皆様にご協力をいただき実施した市民アンケートの結果が記載されています。この施策の取り組みが市民の皆様の生活において、どのように実感されているのかその重要度と満足度についてお伺いした結果です。

なお、具体的な見方につきましては、[別紙1](#)の【市民アンケート結果分布図の見方】をご覧ください。

【成果指標の達成状況】

この施策の達成状況を評価するために、各施策にはそれぞれ指標が設定されています。この指標は市民の皆様にもわかるよう数値で表わしています。

例えば、参考例で示した施策「健康づくりの推進」の施策評価シートで説明すると、この施策の達成状況を把握するための成果指標として、「基本検診の受診率」、「健康づくり推進委員地区活動参加者数」、「医療機能連携の強化」という3つの成果指標があり、それぞれ平成23年度、28年度の目標値が設定されています。そして平成19年度にこの施策を推進した結果が現状値として記載されています。達成率は、平成23年度の目標値に対して平成19年度にどれだけ達成したかを表わしており、今後平成23年度の目標が達成できるよう施策を推進していくこととしております。この施策の成果指標は総合計画の施策に設定している「みんなで目指す目標値」と同じ指標となっています。

また、総合計画が10年間の計画となっており5年ごとに見直しを行っていくこととしているため、目標値を平成23年度と平成28年度に設定しました。

【今後の方向性】

総合評価（施策）

市民アンケート結果、成果指標の達成状況、施策構成事務事業の展開これらの結果を総合的に評価した結果です。Aが順調、Bがやや遅れている、Cが遅れているという評価となっています。

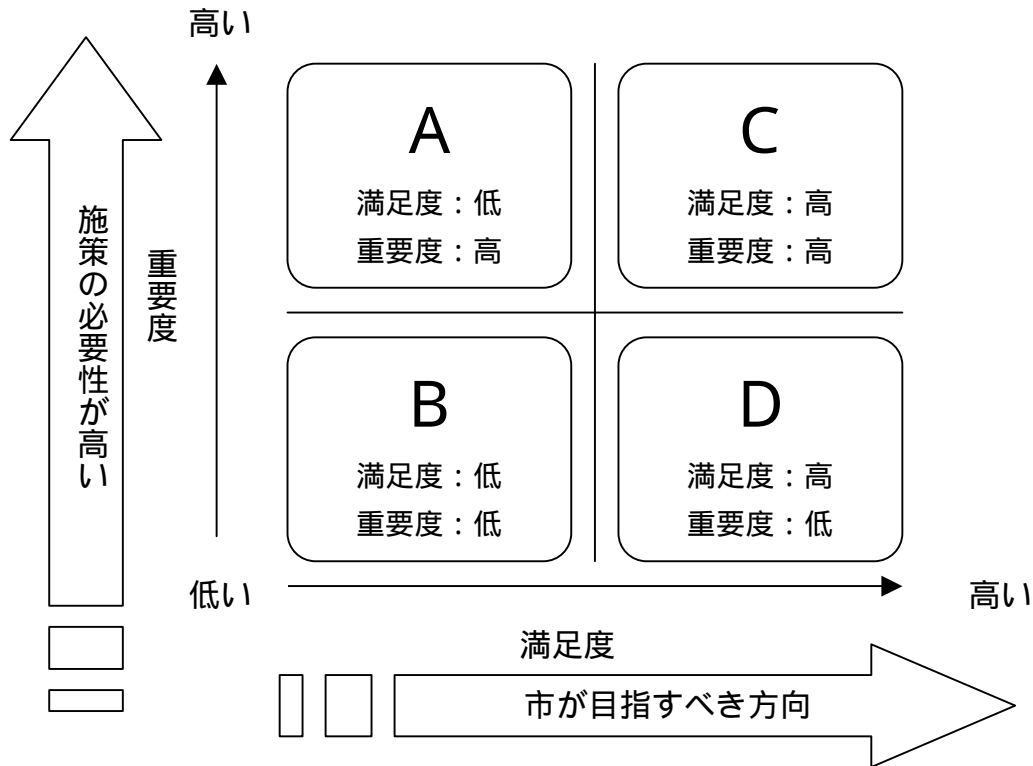
現状分析及び今後の施策展開

総合評価（施策）に基づき、今後この施策をどのように推進していくか、その具体的な方向性が記載されています。

【施策構成事務事業の展開】

施策を推進する具体的な取り組み項目である、事務事業の評価結果が記載されています。各々の事務事業の評価については、事務事業の評価シート及び事務事業評価シートの解説をご覧ください。なお、施策の推進にあたって効果的な事務事業となっているかの評価を行うことにより、今後、廃止する事業や新たに実施する事業等の見直しを行っていきます。

【市民アンケート結果分布図の見方】



～分布図の見方～

重要度は、各施策を推進することについて市民がどのくらい重要だと考えているかを表します。重要度が高いほど市民の関心やニーズが高く、施策を推進する必要性が高いといえます。重要度の変化には社会情勢の変化等の外的要因が大きく影響すると考えられます。

満足度は、各施策の推進状況について市民がどのくらい満足しているかを表します。外的要因の影響もありますが、市が有効な事業を展開することによって高めることができると考えられます。

施策の見直しにあたっては、満足度が低い施策（A・B領域）は満足度を高めるための改善を図る必要性が高く、その中でも重要度が高い施策（A領域）は早急に取り組む必要があると考えられます。その他の施策（C・D領域）についてもさらに満足度を高める努力が求められます。

【今後の方向性】

現状分析及び今後の施策展開	<p>各種審議会や委員会においては、公募による住民代表委員の選出に努めている。</p> <p>また、市政懇談会においては、11地区(11回)に伺い、市政の説明に時間を割くのではなく市民の方から寄せられた質問に対する回答に重きを置き、より市民が行政施策に参加できるような機会の提供に努めている。</p> <p>自治会及びコミュニティ協議会並びにボランティアグループなど各種組織と横断的な連携・協力体制を構築し、一体となってまちづくりを進めることが目的達成となるので、今後さらなる意見交換の機会提供や、それらの情報提供等を積極的に行なわなければならない。</p>
---------------	---

総合評価(施策)
A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ
A

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
市政懇談会	企画政策課	1,147	B3	B3	
出前行政講座	地域支援課	1,120	B3	B3	
消費者の会事業	商工観光課	1,000	B3	B3	
消費生活事業	商工観光課	2,024	B1	B1	

A: 現状のまま継続
 B1: 重点化
 B2: 縮小
 B3: 実施手段の改善
 C: 廃止・休止

菊川市施策評価シート（評価対象年度：平成19年度）

【基本事項】

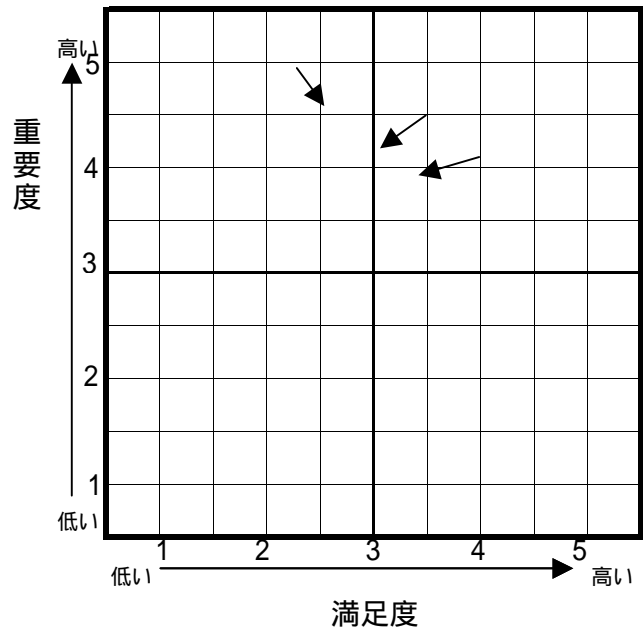
施策名	健康づくりの推進			施策	5
評価担当部署	福祉環境 部	関係部署	福祉環境部(健康福祉課) / 菊川市立総合病院		
総合計画における上位政策	政策	安心していきいき暮らせるまち			

【施策の概要】

目的	市民一人ひとりが自らの健康管理を適正に行うための情報を提供し、心身の健康に関する意識の高揚に努めるとともに、健康診断や健康相談等の充実を図ります。また、市民の安心と安全な医療の確保(充実)と適正な受診を図るため、かかりつけ医を推奨するとともに菊川市立総合病院の医療体制の充実・強化を推進します。
----	---

【市民アンケート結果】

項目	項目名	健康づくりに取り組む人が増えている。	
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	
	3.36（±0）	3.99（0.01）	
項目	項目名	健診や健康相談など病気の予防対策が充実している。	
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	
	3.01（-0.06）	4.24（+0.08）	
項目	項目名	菊川市立総合病院が利用しやすく頼れる医療機関となっている。	
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	
	2.7（±0）	4.51（+0.02）	



【成果指標の達成状況】

成果指標	指標名	基本健診の受診率							
	測定方法	基本健診の受診率(%)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	32.3	29.5	28.5				H23 35.5	
	達成率	91.0%	83.1%	80.3%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 37	
成果指標	指標名	健康づくり推進委員地区活動参加者数							
	測定方法	健康づくり推進委員地区活動参加者数(人)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	7,299	6,505	6,024				H23 9500	
	達成率	76.8%	68.5%	63.4%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 11000	
成果指標	指標名	医療機能連携の強化(病院との連携)							
	測定方法	菊川市立総合病院との連携病院数(病院数)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	3	3	3				H23 6	
	達成率	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 7	

【今後の方向性】

現状分析及び今後の施策展開	<p>偏った食生活や運動不足、ストレスなどに起因する生活習慣病、いわゆるメタボリックシンドロームの予防が叫ばれる中、20年度からこれまでの「基本健診」が保険者毎の「特定健診」「特定保健指導」に移行した。特定保健指導をはじめ健康づくりに関する事業の成果がこれまで以上に求められることになり、「がん検診」などと併せ、市民の健康づくりに向けた施策は重要性を増している。</p> <p>このため、各種相談事業や教育事業は、市民のニーズを見極める中、重点的に進めるものと見直しを図るものを判別しながら進めていく。</p> <p>また、市立病院は、全国的な地方病院の医師不足といった課題の中、医大との連携を取りながら、医師の協力のもと、市民に「安心で安全な医療」を提供できるよう努めていく。</p>
---------------	---

総合評価(施策)

- A: 順調
- B: やや遅れ
- C: 遅れ

A

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
4ヵ月児等健診事業	健康福祉課	5,039	B3	B3	
妊婦健診事業	健康福祉課	7,143	B3	B3	
2ヵ月児相談事業	健康福祉課	1,692	A	A	
7ヵ月児相談事業	健康福祉課	2,621	A	A	
2歳時健診・相談事業	健康福祉課	2,483	B3	B3	
2歳6ヵ月児健診・相談事業	健康福祉課	2,371	B3	B3	
発達訓練指導(げんきっこ)事業	健康福祉課	2,449	B1	B1	
フッ素洗口、フッ素塗布事業	健康福祉課	1,537	A	A	
離乳食教室事業	健康福祉課	1,964	B3	B3	
妊婦教室(プレマサロン)事業	健康福祉課	1,392	B3	B3	
乳幼児訪問事業	健康福祉課	2,275	B1	B1	
乳幼児健康相談事業	健康福祉課	2,579	B3	B3	
一般・集団健康教育事業	健康福祉課	1,574	C	C	
一般・集団健康教育事業	健康福祉課	1,086	B3	B3	
健診後教室事業	健康福祉課	598	C	C	
運動教室事業	健康福祉課	1,363	B3	B3	
歯科教育事業	健康福祉課	-	C	C	(H19未実施)
個別健康教育事業	健康福祉課	2,104	C	C	
保健対策健康相談事業 (40歳以上65歳未満)	健康福祉課	963	C	C	
保健対策健康相談事業 (65歳以上)	健康福祉課	862	B3	B3	
基本健康診査事業	健康福祉課	30,935	C	C	
C型肝炎検査事業	健康福祉課	1,272	B3	B3	
骨粗しょう症検診事業	健康福祉課	345	A	A	
成人歯科健診事業	健康福祉課	713	B3	B3	
保健対策機能訓練事業	健康福祉課	1,060	C	C	
保健対策訪問指導事業	健康福祉課	1,114	B3	B3	
胃がん検診事業	健康福祉課	13,378	B3	B3	
子宮がん検診事業	健康福祉課	6,839	B3	B3	
肺がん検診事業	健康福祉課	4,396	B3	B3	
乳がん検診事業	健康福祉課	7,718	B3	B3	
大腸がん検診事業	健康福祉課	7,145	B3	B3	
前立腺がん検診事業	健康福祉課	2,354	A	A	
健康の日事業	健康福祉課	1,286	B2	B2	
健康づくり推進委員活動事業	健康福祉課	4,228	A	A	
栄養講座事業	健康福祉課	749	B3	B3	
健康づくり食生活リーダー研修事業	健康福祉課	1,292	B3	B3	
健康づくり食生活推進活動事業	健康福祉課	2,348	B3	B3	
生活習慣病検診事業	健康福祉課	4,636	B3	B3	
めばえ幼児相談事業	健康福祉課	1,625	B1	B1	
献血推進事業	健康福祉課	544	A	A	
菊川市立総合病院施設管理	菊川病院	4,260,813	直営	直営	

菊川市施策評価シート（評価対象年度：平成19年度）

【基本事項】

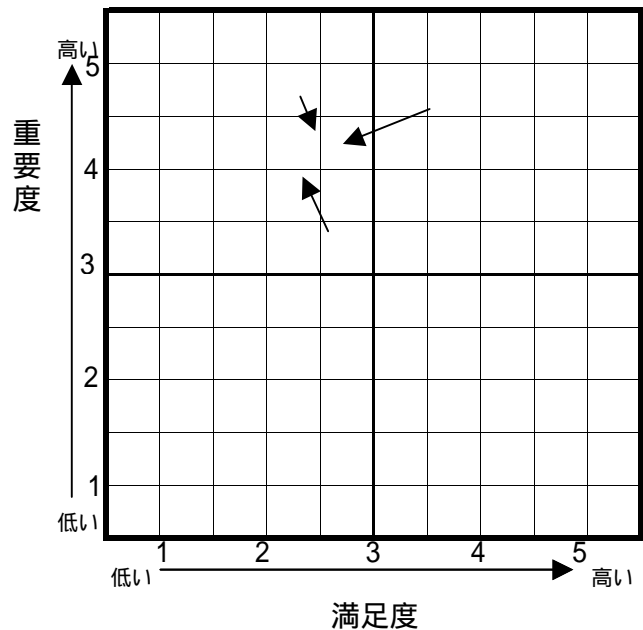
施策名	地域福祉計画の推進			施策	6
評価担当部署	福祉環境 部	関係部署	福祉環境部(健康福祉課・市民課)		
総合計画における上位政策	政策	安心していきいき暮らせるまち			

【施策の概要】

目的	市民同士が結束を強め、子どもも大人も、障がいを持つ人も持たない人も、互いに声をかけあい、ふれあいを大切にし、地域で安心して暮らせるまちを作るため、市民一人ひとりが身近なところから福祉活動に取り組み、だれもが明るく安心して住める地域づくりを目指します。
----	---

【市民アンケート結果】

項目	項目名	高齢者、障がい者への支援などの福祉活動に地域ぐるみで取り組んでいる。	
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	
	2.66（±0）	4.23（+0.05）	
項目	項目名	移動が困難な人達に配慮した交通手段の確保など、だれもが安心して暮らせる環境が整備されている。	
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	
	2.5（-0.05）	4.25（+0.04）	
項目	項目名	だれもが地域で自立した生活のできる支援体制が充実している。	
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	
	2.4（+0.01）	4.1（+0.07）	



【成果指標の達成状況】

成果指標	指標名	近隣に非常に親しい・親しくつきあっている人がいる割合							
	測定方法	近隣に非常に親しい・親しくつきあっている人がいる割合(%) (市民アンケート問10)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	46.7	76.8	77.2				H23 50	
	達成率	93.4%	153.6%	154.4%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 55	
成果指標	指標名	総世帯数に対する自治会加入世帯の割合							
	測定方法	総世帯数に対する自治会加入世帯の割合(%)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	82.5	81.6	81.9				H23 85	
	達成率	97.1%	96.0%	96.4%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 87	
成果指標	指標名	地区センター・地区公民館を利用したことがある人の割合							
	測定方法	地区センター・地区公民館を利用したことがある人の割合(%) (市民アンケート問6)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	75.8	74.8	76.3				H23 80	
	達成率	94.8%	93.5%	95.4%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 85	

成果指標	指標名	地域活動に参加したことがある人の割合							
	測定方法	地域活動に参加したことがある人の割合(%) (市民アンケート問7)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	60.8	42.0	43.3				H23 65	
	達成率	93.5%	64.6%	66.6%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 70	
成果指標	指標名	障がいを持った人に対する隔たりを感じる人の割合							
	測定方法	障がいを持った人に対する隔たりを感じる人の割合(%) (市民アンケート問11)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	58.3	46.2	45.5				H23 50	
	達成率	85.8%	108.2%	109.9%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 45	

【今後の方向性】

現状分析及び今後の施策展開	<p>今日では、人と人との繋がりが希薄化し、地域で助け合うという相互扶助の意識が薄れつつあり、加えて、社会・経済の急激な変動に適應できないため自殺者の増加、ひきこもり、ニートやDV、児童虐待など社会問題は多種、多様化している。</p> <p>このような中、民生委員・人権擁護委員・保護司といった方々の果たす役割は極めて重要であり、地域住民相互の「助け合い」を基本に置いた地域福祉の意義も益々大きくなる中、さらに地域福祉活動の活発化を図っていく。</p> <p>なお、平成20年度、社会福祉協議会において地域福祉行動計画を策定する計画であり、計画をもとに地域福祉活動の推進を図る。</p>
---------------	---

総合評価(施策)

A: 順調
B: やや遅れ
C: 遅れ

A

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
戦没者慰霊事業	健康福祉課	2,277	A	A	
民生委員活動推進事業	健康福祉課	10,197	B3	B3	
民生児童委員協議会補助金	健康福祉課	1,620	A	A	
社会福祉協議会補助金	健康福祉課	79,865	A	A	
人権擁護委員会助成金	市民課	1,264	A	A	
東小笠地区保護司会補助金	健康福祉課	705	A	A	
東小笠地区更生保護女性会補助金	健康福祉課	522	A	A	
菊川市更正保護女性会補助金	健康福祉課	952	A	A	
菊川市保護司会補助金	健康福祉課	1,080	A	A	
協和会館施設管理	健康福祉課	6,476	直営	直営	
市営霊園(城山・大門)施設管理	環境推進課	551	直営	直営	

- A : 現状のまま継続
- B 1 : 重点化
- B 2 : 縮小
- B 3 : 実施手段の改善
- C : 廃止・休止

菊川市施策評価シート（評価対象年度：平成19年度）

【基本事項】

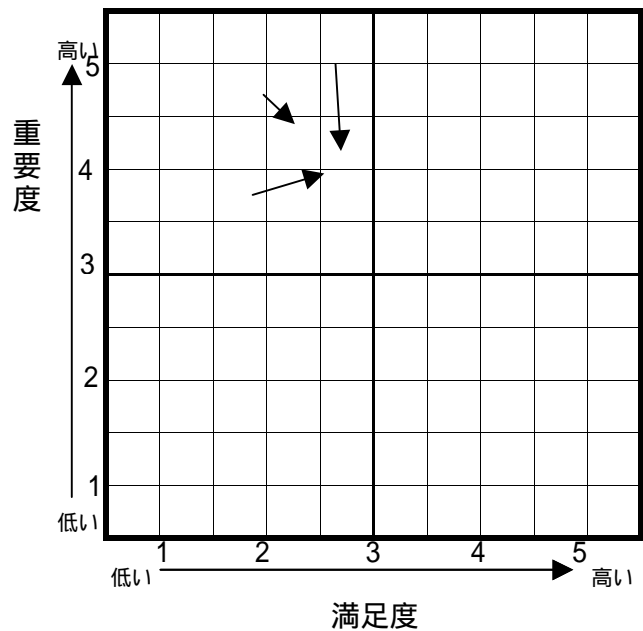
施策名	子育て支援体制の充実			施策	7
評価担当部署	福祉環境 部	関係部署	福祉環境部(こどもみらい課)		
総合計画における上位政策	政策	安心していきいき暮らせるまち			

【施策の概要】

目的	子どもにとって何が一番大切なのかを踏まえた上で、安心して子どもを育てていくことができる環境の整備に努めます。そして、育児に困難さを感じる保護者を支援するネットワークを強化するための働きかけを行います。
----	--

【市民アンケート結果】

項目	項目名	子育て家庭のニーズ(需要)に応じた保育サービスが充実している。	
	満足度 (前年度比)	重要度 (前年度比)	
	2.78 (+0.06)	4.21 (+0.13)	
項目	項目名	子育てに不安を感じたときに気軽に相談できるところがある。	
	満足度 (前年度比)	重要度 (前年度比)	
	2.78 (+0.05)	4.16 (+0.07)	
項目	項目名	若者が定住しやすい子育てや教育環境が整っている。	
	満足度 (前年度比)	重要度 (前年度比)	
	2.49 (+0.04)	4.25 (-0.03)	



【成果指標の達成状況】

成果指標	指標名	児童館・子育て支援センターの利用者数(2館の合計)							
	測定方法	児童館・子育て支援センターの利用者数(2館の合計)(人)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	41,291	43,231	47,003				H23 42,000	
	達成率	98.3%	102.9%	111.9%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 43,000	
成果指標	指標名	リフレッシュ・一時保育の実施園							
	測定方法	リフレッシュ・一時保育の実施園数(園)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	9	10	10				H23 11	
	達成率	81.8%	90.9%	90.9%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 11	
成果指標	指標名	延長保育の実施園							
	測定方法	延長保育の実施園数(園)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	3	3	4				H23 4	
	達成率	75.0%	75.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 7	

成果指標	指標名	放課後児童クラブの設置数							
	測定方法	放課後児童クラブの設置数(箇所)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	5	7	7				H23	7
	達成率	71.4%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	H28	7

【今後の方向性】

現状分析及び今後の施策展開	<p>菊川市も含め、全国的に少子化が進む中で、個人的なつながりで相談し合う機会が減ることにより、子育ての悩みを抱える親が増えている。</p> <p>さらに、男女雇用機会均等法や育児休業制度の普及により、働きながら子育てをする母親が増え、これに合わせた子育て支援サービスの充実も必要になっている。</p> <p>このような中、安心して子どもを生み育てていくことができる環境の整備に努め、育児に困難さを感じる保護者を支援するネットワークを強化するための働きかけや施策を展開していく。</p> <p>なお、平成20年度から、こどもみらい課の子育て企画相談グループにおいて、療育に関する相談支援を実施することとした。</p>
---------------	--

<p>総合評価(施策)</p> <p>A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ</p>
A

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
児童館運営事業	こどもみらい課	20,347	A	A	
子育て支援センター運営事業	こどもみらい課	10,111	A	A	
放課後児童クラブ運営事業	こどもみらい課	33,265	B1	B1	
内田保育園保育事業	こどもみらい課	78,728	A	A	
保育対策等促進事業補助金	こどもみらい課	5,942	A	A	
次世代育成支援対策補助金	こどもみらい課	26,024	B2	B2	
多様な保育推進事業費補助金	こどもみらい課	57,032	B2	B2	
障がい児保育事業補助金	こどもみらい課	2,204	B1	B1	
保育園敷地借地料補助金	こどもみらい課	4,057	A	A	
母親クラブ育成事業補助金	こどもみらい課	584	A	A	
保育所施設等整備事業費補助金	こどもみらい課	75,894	A	A	
菊川市幼児施設連絡会補助金	こどもみらい課	880	A	A	
小児慢性特定疾患日常生活給付事業補助金	こどもみらい課	280	A	A	(H19未実施)
菊川中央放課後児童クラブ	こどもみらい課	7,073	直営	直営	

菊川市施策評価シート（評価対象年度：平成19年度）

【基本事項】

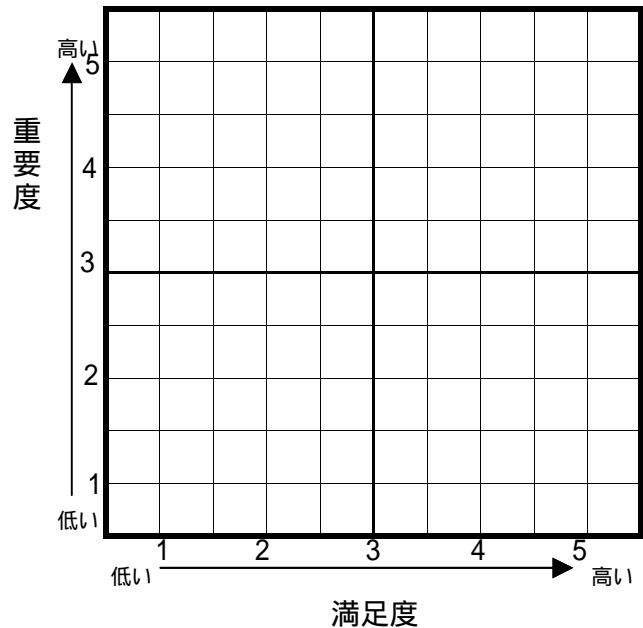
施策名	長寿・生きがい対策の推進			施策	8
評価担当部署	福祉環境 部	関係部署	福祉環境部(健康福祉課)		
総合計画における上位政策	政策	安心していきいき暮らせるまち			

【施策の概要】

目的	高齢者が健康で生きがいを持って生活できる地域社会づくりを目指し、学習・交流機会の充実を図ります。また、生きがい創出のために、高齢者がその知識・経験・技能を生かし、まちづくりの重要な担い手として活躍できる場の充実を図ります。
----	---

【市民アンケート結果】

項目	項目名	高齢者が生きがいをもって、地域の活動などに参加する機会がある。			
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）			
	2.84 (-0.03)	3.91 (+0.03)			
項目	項目名				
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）			
項目	項目名				
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）			



【成果指標の達成状況】

成果指標	指標名	地域での高齢者生きがいサロンの開設箇所数							
	測定方法	地域での高齢者生きがいサロンの開設箇所数(箇所)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	3	4	4				H23 5	
	達成率	60.0%	80.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 7	
成果指標	指標名	シルバー人材センター会員数							
	測定方法	シルバー人材センター会員数(人)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	542	534	524				H23 600	
	達成率	90.3%	89.0%	87.3%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 700	
成果指標	指標名	緊急通報システム設置数							
	測定方法	緊急通報システム設置数(箇所)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	52	49	55				H23 60	
	達成率	86.7%	81.7%	91.7%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 70	

成果指標	指標名	敬老会出席率							
	測定方法	敬老会出席率 (%)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	52.5	49.7	49.2				H23 55	
	達成率	8.8%	8.3%	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 60	

【今後の方向性】

現状分析及び今後の施策展開	<p>高齢化率が年々増加する傾向の中、高齢者世帯やひとり暮らし高齢者への対応、団塊の世代の退職後の生きがいづくり、老人クラブ活動やシルバー人材センター事業への支援など高齢者福祉サービスの充実が求められている。</p> <p>高齢者が健康で生きがいを持って生活できる地域社会づくりを目指し、学習・交流機会の充実を図ると共に、生きがい創出のために高齢者がその知識・経験・技能を生かし、まちづくりの重要な担い手として活躍できる場の充実を図っていく。</p>
---------------	---

総合評価(施策)

A: 順調
 B: やや遅れ
 C: 遅れ

A

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
敬老会開催事業	健康福祉課	16,555	B3	B3	
老人クラブ補助金	健康福祉課	2,650	A	A	
シルバー人材センター補助金	健康福祉課	13,372	B2	B2	

菊川市施策評価シート（評価対象年度：平成19年度）

【基本事項】

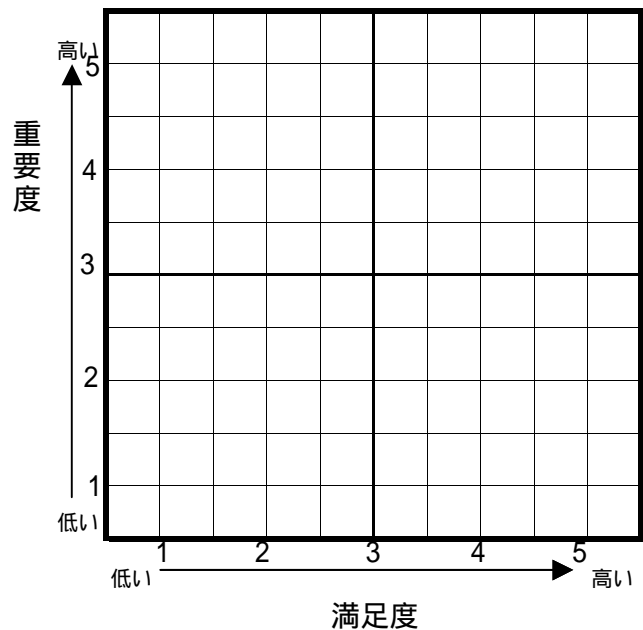
施策名	高齢者介護事業の推進			施策	9
評価担当部署	福祉環境 部	関係部署	福祉環境部(健康福祉課)		
総合計画における上位政策	政策	安心していきいき暮らせるまち			

【施策の概要】

目的	高齢者一人ひとりが自分らしくいきいきと生きがいを持って生活できるよう、介護保険制度に基づく質の向上や最適なケアプランの作成など、より充実したサービス提供に努め、健康づくりをはじめ、福祉及び介護施策との連携を図ります。
----	--

【市民アンケート結果】

項目	項目名	高齢者とその家族を支えるサービスが充実している。	
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	
		2.55 (-0.14)	4.22 (+0.04)
項目	項目名		
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	
項目	項目名		
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	



【成果指標の達成状況】

成果指標	指標名	介護老人福祉施設入所定員数							
	測定方法	介護老人福祉施設入所定員数(人)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	130	210	210				H23 210	
	達成率	61.9%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 210	
成果指標	指標名	要介護2～5認定者の居住系占有率							
	測定方法	要介護2～5認定者の居住系占有率(%)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	49.1	40.3	38				H23 44.2	
	達成率	90.0%	109.7%	116.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	H28 37	
成果指標	指標名	要介護4～5認定者の入所施設居住系占有率							
	測定方法	要介護4～5認定者の入所施設居住系占有率(%)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	55.9	56.2	54.6				H23 64.9	
	達成率	86.1%	86.6%	84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 70.2	

菊川市施策評価シート（評価対象年度：平成19年度）

【基本事項】

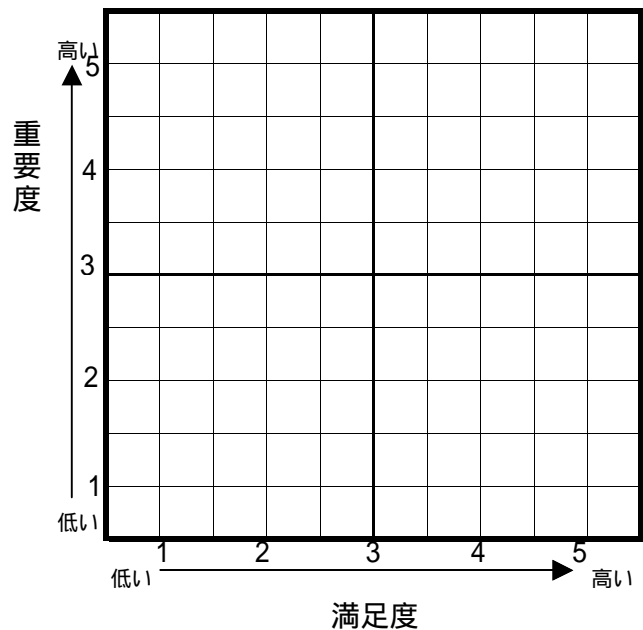
施策名	障害者福祉の充実			施策	10
評価担当部署	福祉環境 部	関係部署	福祉環境部(健康福祉課)		
総合計画における上位政策	政策	安心していきいき暮らせるまち			

【施策の概要】

目的	障害者福祉の充実のため、障がいのある人が障害程度審査会により公平な障害程度区分に判定され、自立支援法に基づくサービスを受けられるようサービス基盤の充実を図ります。また、障がいのある人が、安心して暮らせるよう自立の支援、機能回復訓練、在宅支援サービス、地域生活支援や啓発体制を支援していきます。
----	--

【市民アンケート結果】

項目	項目名	障がいをもつ人が地域の中で安心して暮らすことができる。			
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）			
	2.57 (-0.02)	4.24 (+0.03)			
項目	項目名				
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）			
項目	項目名				
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）			



【成果指標の達成状況】

成果指標	指標名	相談専門員の配置							
	測定方法	相談専門官の配置人数(人)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	0	0	0				H23 1	
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 1	
成果指標	指標名	障害児放課後対策事業利用者数							
	測定方法	障害児放課後対策事業利用者数(人)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	24	25	31				H23 27	
	達成率	88.9%	92.6%	114.8%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 30	
成果指標	指標名	グループホーム・ケアホームの設置数							
	測定方法	グループホーム・ケアホームの設置数(箇所)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	20	20	19				H23 23	
	達成率	87.0%	87.0%	82.6%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 25	

【今後の方向性】

<p>現状分析及び今後の施策展開</p>	<p>平成18年10月からの自立支援法の施行により、従来の障害者サービスが大きく見直された。 障害者福祉充実のため、公平な障害者程度区分の判定に基づき、自立支援法に基づくサービスが受けられるようサービス基盤の充実を図る。 また、障がいのある人が、安心して暮らせるように自立支援、機能回復訓練、在宅支援サービス、地域生活支援制度や啓発体制を支援していく。 19年度は、「東遠地域広域障害者計画 しあわせネットワークプラン」を策定し、菊川市・掛川市・御前崎市が今後進めていく障害者施策の基本方向や目標を定めた。</p>
----------------------	--

<p>総合評価(施策)</p> <p>A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ</p>
<p>A</p>

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
重度身体障害者住宅改造費補助金	健康福祉課	280	A	A	H19申請なし
身体障害者デイケア利用補助金	健康福祉課	763	C	C	地域生活支援事業へ移行
心身障害者通所費補助金	健康福祉課	2,288	A	A	
精神保健ボランティア活動事業	健康福祉課	846	B3	B3	
障害者地域生活支援事業	健康福祉課	12,850	B1	B1	
重度障害者(児)日常生活用具給付事業補助金	健康福祉課	6,016	A	A	
更生訓練給付事業補助金	健康福祉課	299	A	A	

菊川市施策評価シート（評価対象年度：平成19年度）

【基本事項】

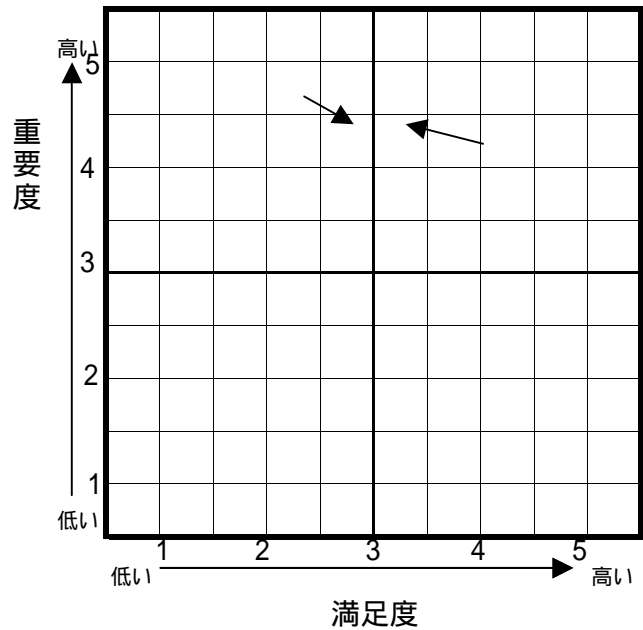
施策名	学校教育の充実			施策	11
評価担当部署	教育文化 部	関係部署	教育文化部(学校教育課・給食センター)/福祉環境部(こどもみらい課)		
総合計画における上位政策	政策	豊かなこころを育むまち			

【施策の概要】

目的	基本目標を「確かな学力と思いやりに満ちた学校」づくりとし、基礎・基本の定着と主体的に課題を見つけ、自ら学び、自ら考える、知・徳・体のバランスのとれた児童・生徒を育成する。
----	---

【市民アンケート結果】

項目	項目名	子どもの知・徳・体に優れた人間形成を図るための学校教育が実施されている。	
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	
	2.9 (-0.07)	4.33 (-0.04)	
項目	項目名	学校と家庭・地域が一体となって子どもたちを見守っている。	
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	
	3.16 (-0.03)	4.31 (-0.1)	
項目	項目名		
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	



【成果指標の達成状況】

成果指標	指標名	不登校を理由とする長期欠席児童生徒数							
	測定方法	不登校を理由とする長期欠席児童生徒数 (%)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	0.5	0.9	0.86				H23 0.3	
	達成率	60.0%	33.3%	34.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	H28 0	
成果指標	指標名	防犯教室の実施							
	測定方法	防犯教室の実施 (%)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	100	100	100				H23 100	
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 100	
成果指標	指標名	学校及び幼稚園施設の耐震化							
	測定方法	学校及び幼稚園施設の耐震化率 (%)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	83.3	96.6	96.6				H23 100	
	達成率	83.3%	96.6%	96.6%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 100	

成果指標	指標名	給食残食率(主食・飯米・パン)							
	測定方法	給食残食率(%)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	10	8.8	5.6				H23 9	
	達成率	90.0%	102.3%	160.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	H28 8	

【今後の方向性】

現状分析及び今後の施策展開	<p>市内小・中学校は、前年度同様大変落ち着いた状況で、不登校の児童・生徒数も僅かではあるが減少した、今後も教育相談事業や特別支援教育推進事業の充実により、「一人ひとりに応じたきめ細やかな指導」の推進を図って行く。また、年々増加する外国人児童生徒への指導・支援体制について、更に強化していく必要がある。これらの課題解決のため、今後も引き続き個に応じた教育や心の教育の充実を図り、「確かな学力と思いやりに満ちた学校」づくりをソフト・ハードの両面にわたって推進していく。学校施設の耐震化については残された小笠東小と小笠南小体育館の建設を計画通り進め、耐震化率100%を目指す。学校給食においては、今後も地産地消に努めると共に、食育指導の充実を図り、児童・生徒の健康の保持・増進に努めていく。</p>
---------------	---

<p>総合評価(施策)</p> <p>A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ</p>
A

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費(千円)	今後の方向性		
			担当課による評価(当初)	最終評価(本部会)	備考
給食献立研修事業	給食センター	593	A	A	
英語指導助手推進事業	学校教育課	5,025	B1	B1	
教育相談室運営事業	学校教育課	2,983	A	A	
教育研究推進事業	学校教育課	3,117	A	A	
人権教育推進事業	学校教育課	607	A	A	
外国人児童指導事業	学校教育課	11,404	B1	B1	
ことばの教室運営事業(学校管理)	学校教育課	2,777	A	A	
小学校施設整備事業(県費補助)	学校教育課	8,985	B1	B1	
中学校施設整備事業(県費補助)	学校教育課	3,933	B1	B1	
小中PTA連合会補助金	学校教育課	666	A	A	
部活奨励費補助金	学校教育課	690	A	A	
学校安全推進事業	学校教育課	2,636	A	A	
児童生徒通学費補助金	学校教育課	127	A	A	

【今後の方向性】

現状分析及び 今後の施策展 開	社会環境の急激な変化や地域における人と人の関わりの希薄さが顕著になっている昨今、青少年の規範意識や判断能力、家庭教育力の低下が懸念されている。今後も「次世代を担う人づくりの推進」を積極的に推し進め、青少年の育成のため各種事業を展開し、明日の菊川市を背負って立つ若者、地域団体等を支援していく。また、人づくりは家庭教育、地域社会、学校教育が一体となって推進していくことが大切であることから、そのための居場所づくりも重要である。各種事業においても、毎年事業評価等による見直しを行い、「参加したい」と思わせる仕掛けづくりや工夫を今後とも継続していく。
-----------------------	--

総合評価(施策) A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ
A

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
宿泊体験活動事業	社会教育課	2,143	B3	B3	
青少年健全育成活動費補助金	社会教育課	602	A	A	
家庭教育推進事業	社会教育課	2,248	A	A	
成人式開催事業	社会教育課	3,097	A	A	
青少年対策事業	社会教育課	2,150	A	A	
青少年育成事業参加者補助金	社会教育課	31	A	A	

【今後の方向性】

現状分析及び 今後の施策展 開	急速に進む情報化社会の流れのなか、市民のライフスタイルや嗜好、学習の目的、自己表現志向は年々多様化してきている。こうした現状のなかで行政として市民のニーズに対応すべく、情報・ネットワークづくりの場の提供や学習機会の拡大等において工夫や改善を重ねていく必要がある。子どもから高齢者まで幅広い世代が生きがいや教養を得られるよう、今後も支援していくと共に地域コミュニティ施設の活用やその他外部機関との連携、異世代間の交流等の方向性を見出していくことが大切である。中央公民館や図書館については、生涯学習に関する情報のネットワークづくりの場として有効利用されており、今後も改善を重ねながら一人でも多くの市民に利用していただくよう努めていく。
-----------------------	---

総合評価(施策) A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ
A

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本体会)	備考
団体活動費補助金(少年少女合唱団補助金)	社会教育課	120	A	A	
団体活動費補助金(くちなしの会補助金)	社会教育課	96	A	A	
団体活動費補助金(仲良し学校補助金)	社会教育課	112	B2	B2	
団体活動費補助金(青年団活動費補助金)	社会教育課	456	A	A	20-1(若者参加の地域づくりの推進)に再掲
団体活動費補助金(ボーイスカウト活動費補助金)	社会教育課	128	A	A	
団体活動費補助金(子ども会活動費補助金)	社会教育課	750	A	A	
団体活動費補助金(小笠高等学校解放講座補助金)	社会教育課	258	A	A	H21から賛助金へ
成人学習推進事業	社会教育課	4,518	A	A	
高齢者学習推進事業	社会教育課	878	A	A	
青少年学習推進事業	社会教育課	5,184	A	A	
各種講座開催事業	図書館	4,228	B3	B3	
展示活動推進事業	図書館	1,395	A	A	
文学講演会事業	図書館	1,610	B3	B3	
お話ステーション事業	図書館	695	A	A	
図書購入事業	図書館	24,485	B1	B1	
堀之内陶芸施設管理	社会教育課	281	直営	直営	
中央公民館施設管理	社会教育課	22,435	直営	直営	
菊川文庫施設管理	図書館	32,841	直営	直営	
小笠図書館施設管理	図書館	20,501	直営	直営	

【今後の方向性】

現状分析及び 今後の施策展 開	文化財は長い歴史や特色ある風土の中で培われてきた貴重な財産であるが、文化財の意識は必ずしも地域住民に浸透していないのが現状である。今後は保護・保存と併せて、学校の総合学習や地域の生涯学習等における貴重な教材として活用を図っていきたい。また、観光面での活用についても各種資料館の運営とあわせて力をいれ、郷土の歴史や文化へ触れるきっかけづくりに努めていく。歴史・文化遺産に対する意識が一人でも多くの市民に浸透していくよう、今後も活用の方法を工夫していく。
-----------------------	---

総合評価(施策)
A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ
A

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
潮海寺文化財保存会補助金	社会教育課	164	B1	B1	
内田郷土資料館保存会補助金	社会教育課	119	A	A	
横地城跡保存会補助金	社会教育課	146	A	A	
山西郷土資料館補助金	社会教育課	119	A	A	
虚空蔵山補助金	社会教育課	106	A	A	
関口隆吉遺徳顕彰会補助金	社会教育課	119	A	A	
栗田土満遺徳顕彰会補助金	社会教育課	146	A	A	
大頭龍神楽保存会補助金	社会教育課	119	A	A	
黒田家管理費補助金	社会教育課	1,330	A	A	
代官屋敷資料館施設管理	社会教育課	6,377	直営	直営	
歴史街道館施設管理	社会教育課	5,949	直営	直営	

A : 現状のまま継続
 B1: 重点化
 B2: 縮小
 B3: 実施手段の改善
 C : 廃止・休止

菊川市施策評価シート（評価対象年度：平成19年度）

【基本事項】

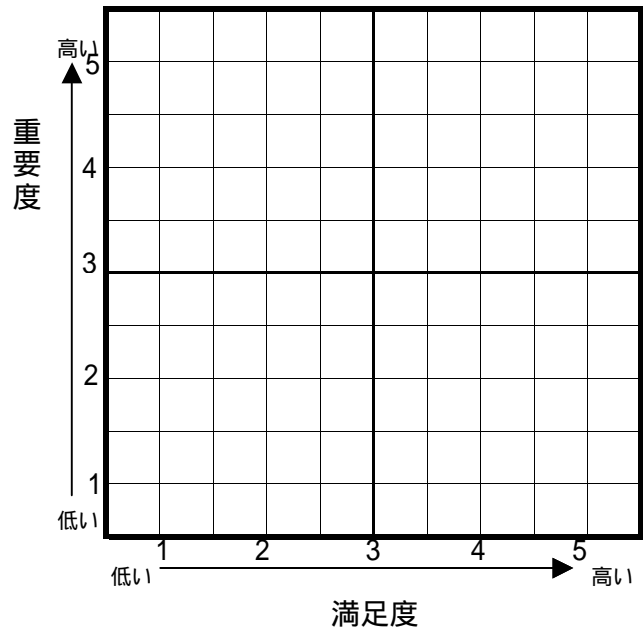
施策名	文化活動の振興			施策	15
評価担当部署	教育文化 部	関係部署	教育文化部(文化会館・社会教育課)		
総合計画における上位政策	政策	豊かなこころを育むまち			

【施策の概要】

目的	市民に豊かな芸術文化に接する機会を提供するとともに、地域文化活動の推進・地域文化の継承を図る。
----	---

【市民アンケート結果】

項目	項目名	気軽に芸術文化活動ができる又は芸術に触れられる環境が整っている。	
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	
		2.65 (-0.04)	3.37 (-0.1)
項目	項目名		
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	
項目	項目名		
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	



【成果指標の達成状況】

成果指標	指標名	展示発表事業参加団体数							
	測定方法	展示発表事業参加団体数(団体)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	68	56	61				H23 70	
	達成率	97.1%	80.0%	87.1%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 72	
成果指標	指標名	文化会館自主公演事業の入場率							
	測定方法	文化会館自主公演事業の入場率(%)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	48	51	68				H23 70	
	達成率	68.6%	72.9%	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 80	
成果指標	指標名	文化会館大小ホールの利用の促進							
	測定方法	文化会館大小ホールの利用率(%)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	56	53	81.1				H23 62	
	達成率	90.3%	85.5%	130.8%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 68	

【今後の方向性】

現状分析及び今後の施策展開	<p>文化会館アエルや中央公民館、コミュニティセンター等では、各種の事業や講座を開催し、市民に広く芸術や文化に親しむ機会を提供しています。今後もこれらの文化施設をさらに有効活用するために、市民参加型の文化・芸術活動や市民の要望に応えた文化事業を進める必要があります。</p> <p>また、文化会館アエルは平成20年4月から指定管理者に移行したことから、移行の目的のひとつである「民間のノウハウを有効活用した、効率的な運営や開館日の増などによる、市民サービスの向上」が図られているか、検証を進めて行く。</p>
---------------	--

<p>総合評価(施策)</p> <p>A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ</p>
A

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
施設貸館事業	文化会館	102,810	C	C	H20から指定管理者による管理運営に移行
文化事業振興事業	文化会館	23,411	C	C	H20から指定管理者による管理運営に移行
菊川文化会館アエル友の会事務	文化会館	4,159	C	C	H20から指定管理者による管理運営に移行
文化事業振興協会補助金	文化会館	7,280	C	C	H20から指定管理者による管理運営に移行
文化事業振興事業(写生大会)	社会教育課	1,010	A	A	
文化事業振興事業(美術展)	社会教育課	1,160	A	A	
文化事業振興事業(文化祭)	社会教育課	2,190	B3	B3	
文化事業振興事業(書初め展)	社会教育課	1,005	A	A	
文化協会活動費補助金	社会教育課	2,022	A	A	
菊川文化会館アエル施設管理	文化会館	99,750	指定管理者	指定管理者	H20年度移行

【今後の方向性】

現状分析及び今後の施策展開	スポーツ振興のため、一人1スポーツの普及促進に努め、各種スポーツ大会や教室を開催するとともに各種競技団体を育成・指導に力を入れている。また、地域で気楽に実施できるスポーツの普及についても体育指導委員等の協力を得ながら推進している。今後も、引き続き地域に根ざした生涯スポーツの奨励を図るとともに、総合型スポーツクラブの立ち上げを実現し、各種スポーツが身近でできる体制づくりを推進していく。
---------------	---

総合評価(施策)
A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ
A

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
青少年スポーツ振興事業	社会教育課	954	B3	B3	
生涯スポーツ推進事業	社会教育課	2,873	B3	B3	
スポーツ大会推進事業	社会教育課	7,515	A	A	
スポーツ大会出場支援事業	社会教育課	3,261	A	A	
指導者養成事業	社会教育課	2,241	A	A	
スポーツ少年団補助金	社会教育課	773	A	A	
歩行運動活動補助金	社会教育課	1,373	B2	B2	
生涯スポーツ推進補助金	社会教育課	1,378	C	C	H21から地域づくり交付金へ移行
体育協会補助金	社会教育課	7,658	A	A	
布引原プール補助金	社会教育課	268	B2	B2	
菊川運動公園(グラウンド)施設管理	施設管理課	15,606	指定管理者へ移行	指定管理者へ移行	指定管理者導入の検討中
和田公園(グラウンド)施設管理	施設管理課	7,804	指定管理者へ移行	指定管理者へ移行	指定管理者導入の検討中
蓮池公園(グラウンド)施設管理	施設管理課	7,150	指定管理者へ移行	指定管理者へ移行	指定管理者導入の検討中
菊川公園(グラウンド)施設管理	施設管理課	2,650	指定管理者へ移行	指定管理者へ移行	指定管理者導入の検討中
尾花運動公園施設管理	施設管理課	5,242	指定管理者へ移行	指定管理者へ移行	指定管理者導入の検討中
総合体育館施設管理	施設管理課	11,050	指定管理者へ移行	指定管理者へ移行	指定管理者導入の検討中
小笠体育館施設管理	施設管理課	2,359	指定管理者へ移行	指定管理者へ移行	指定管理者導入の検討中
堀之内体育館施設管理	施設管理課	2,665	直営	直営	廃止が存続の検討必要
丹野グランド施設管理	施設管理課	1,366	直営	直営	指定管理者導入の検討中
小笠グランドゴルフ場施設管理	施設管理課	2,315	市民との協働	市民との協働	指定管理者導入の検討中

菊川市施策評価シート（評価対象年度：平成19年度）

【基本事項】

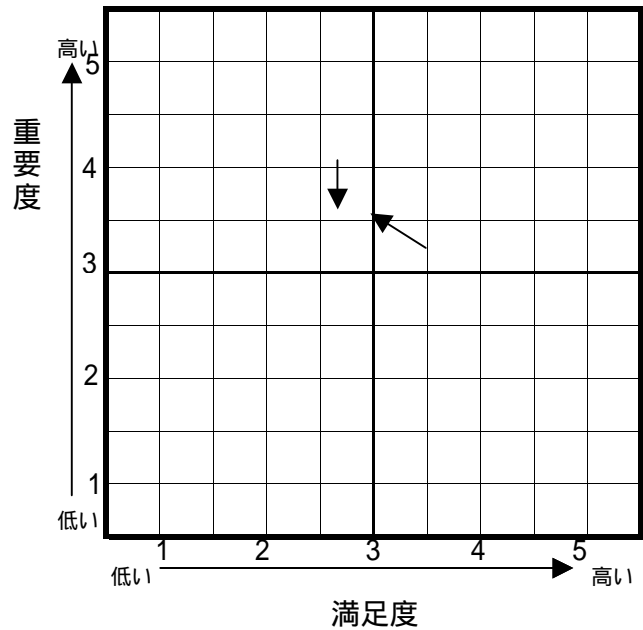
施策名	地域コミュニティ基盤の構築		施策	17
評価担当部署	総務企画部	関係部署	総務企画部(地域支援課・施設管理課)	
総合計画における上位政策	政策	笑顔が生まれるまち		

【施策の概要】

目的	自治会活動への支援とともに、市民活動を連携強化するコミュニティ協議会の設立支援を進め、コミュニティ機能の維持、強化と協働の基盤を構築する。
----	---

【市民アンケート結果】

項目	項目名	住んでいる地区のコミュニティ(人と人との交流、助け合いなど)が活発である。	
	満足度(前年度比)	重要度(前年度比)	
		2.91 (-0.04)	3.74 (-0.12)
項目	項目名	各地区で、地区の特性を活かした特色あるまちづくりが行われている。	
	満足度(前年度比)	重要度(前年度比)	
		2.75 (+0.05)	3.41 (-0.11)
項目	項目名		
	満足度(前年度比)	重要度(前年度比)	



【成果指標の達成状況】

成果指標	指標名	コミュニティセンター数							
	測定方法	コミュニティセンター数(箇所)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	10	10	10				H23 13	
	達成率	76.9%	76.9%	76.9%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 13	
成果指標	指標名	地域計画策定数							
	測定方法	地域計画策定数(地区)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	0	0	0				H23 3	
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 11	
成果指標	指標名	コミュニティ助成数							
	測定方法	コミュニティ助成数(地区)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	112	112	113				H23 132	
	達成率	84.8%	84.8%	85.6%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 147	

【今後の方向性】

<p>現状分析及び今後の施策展開</p>	<p>平成17年度に菊川市コミュニティ協議会検討委員会により「地域コミュニティづくりの指針」を策定した。また、防災施設・コミュニティセンター複合施設である平川センターが平成18年3月に整備され、同年4月に市第1号となる平川コミュニティ協議会が発足された。</p> <p>平成19年度では、西方地区をはじめ、設立準備会が5地区設立されました。(西方・六郷・内田・小笠東・小笠南)今後もコミュニティ協議会設立に向けて、地域の方々と協議と支援を積極的に行なっていく。(横地地区はH20.4.20、河城地区はH20.6.6にそれぞれコミュニティセンターが設立された。)</p> <p>また、小笠地域で未整備となっている3地区のセンターについて、平成20年度に東・南地区を整備し、平成21年度には嶺田地区のセンターを整備していく予定である。</p>
----------------------	---

<p>総合評価(施策)</p> <p>A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ</p>
<p>A</p>

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
菊川市連合自治会運営費補助金	地域支援課	2,690	A	A	
地区自治会運営費補助金	地域支援課	3,922	B2	B2	地域づくり交付金へ一部移行
コミュニティ施設整備費補助金	地域支援課	10,016	A	A	
地区センター運営費補助金	地域支援課	3,960	B2	B2	地域づくり交付金へ一部移行
青葉台コミュニティーセンター施設管理	地域支援課	6,546	直営	直営	
牧之原農村婦人の家施設管理	地域支援課	3,449	直営	直営	
六郷地区センター施設管理	地域支援課	4,598	直営	直営	
加茂地区センター施設管理	地域支援課	4,346	直営	直営	
横地地区センター施設管理	地域支援課	3,122	直営	直営	
内田地区センター施設管理	地域支援課	3,480	直営	直営	
河城地区センター施設管理	地域支援課	4,147	直営	直営	
西方地区センター施設管理	地域支援課	3,098	直営	直営	
平川会館施設管理	地域支援課	3,036	直営	直営	
菊川老人福祉センター(町部地区センター)施設管理	地域支援課	3,225	直営	直営	
市民集会所施設管理	施設管理課	1,623	直営	直営	
丹野多目的集会所施設管理	施設管理課	1,042	市民との協働	市民との協働	

菊川市施策評価シート（評価対象年度：平成19年度）

【基本事項】

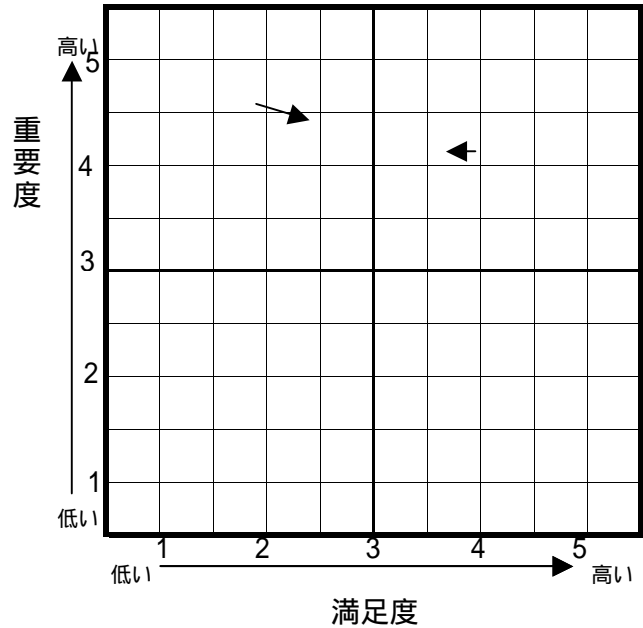
施策名	水質保全対策の促進			施策	22
評価担当部署	福祉環境 部	関係部署	福祉環境部(環境推進課)/建設経済部(都市計画課)		
総合計画における上位政策	政策	輝くみどりのまち			

【施策の概要】

目的	家庭からの生活排水による汚濁を減らし、水を大切に暮らすの実践を奨励するとともに、公共下水道の整備や合併浄化槽の適正な維持管理を推進し、河川等の水質保全に努めます。また、上水道については水道事業の拡充を図り、良質な水の安定供給に努めます。
----	--

【市民アンケート結果】

項目	項目名	「きれいな空気、清らかな川、静かなまち」など、よい環境が保たれている。	
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	
	2.67 (+0.08)	4.3 (-0.03)	
項目	項目名	身近に自然を感じられる場所が多くある。	
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	
	3.52 (+0.05)	4.14 (+0.03)	
項目	項目名		
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）	



【成果指標の達成状況】

成果指標	指標名	汚水処理人口(公共下水道)							
	測定方法	汚水処理人口(公共下水道)(人)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	4,120	4,372	7,792				H23 11,510	
	達成率	35.8%	38.0%	67.7%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 15,950	
成果指標	指標名	汚水処理人口(合併処理浄化槽)							
	測定方法	汚水処理人口(合併処理浄化槽)(人)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	10,570	13,049	14,754				H23 15,610	
	達成率	67.7%	83.6%	94.5%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 19,210	
成果指標	指標名	給水する水量と、料金として収入のあった水量との比率(上水道有収率)							
	測定方法	給水する水量と、料金として収入のあった水量との比率(上水道有収率)(%)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	88.1	89.9	90.3				H23 89.5	
	達成率	98.4%	100.4%	100.9%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 91	

[今後の方向性]

現状分析及び 今後の施策展 開	<p>河川の水質汚濁の一番の原因は、家庭からの生活排水によるものである。その対策として、公共下水道等の整備や合併浄化槽の適正な維持管理、単独浄化槽から合併浄化槽への布設替えを誘導するといったハード面から、小学生に河川浄化の必要性を訴える啓発事業といったソフト面を併せて実施していく。</p> <p>また、上水道については、引き続き良質な水の安定供給に努めていく。</p>
-----------------------	---

総合評価(施策)

- A:順調
B:やや遅れ
C:遅れ

B

[施策構成事務事業の展開]

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本体会)	備考
河川浄化啓発事業	環境推進課	913	C	C	
青葉台下水道処理場使用料徴収事業	環境推進課	2,169	C	C	料金徴収については民間委託
平尾下水道処理場使用料徴収事業	環境推進課	595	C	C	料金徴収については民間委託
合併処理浄化槽設置費補助金	環境推進課	70,881	B2	B2	
青葉台下水道処理場施設管理	環境推進課	72,488	廃止	廃止	公共下水道へ接続
平尾下水道処理場施設管理	環境推進課	8,052	直営	直営	

- A:現状のまま継続
B1:重点化
B2:縮小
B3:実施手段の改善
C:廃止・休止

【今後の方向性】

現状分析及び 今後の施策展 開	菊川市内は、河川の広がりや溜池が多く点在し、親しみやすい水辺環境や田園や樹林地などの里山が存在しているが、樹林地などでは手入れが行われず、竹林の区域が増加するなど必ずしも良い環境にあるとは言えなくなっている。 今後は、菊川の水辺や溜池など水辺空間や里山の植林地など、市民に身近な自然環境を保全、活用するため、市民と行政が協力して憩いの河川・池等の環境保全に努めていく。
-----------------------	---

総合評価(施策) A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ
B

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
河川愛護事業補助金【再掲】	建設課	3,926	C	C	

A : 現状のまま継続
 B 1 : 重点化
 B 2 : 縮小
 B 3 : 実施手段の改善
 C : 廃止・休止

菊川市施策評価シート（評価対象年度：平成19年度）

【基本事項】

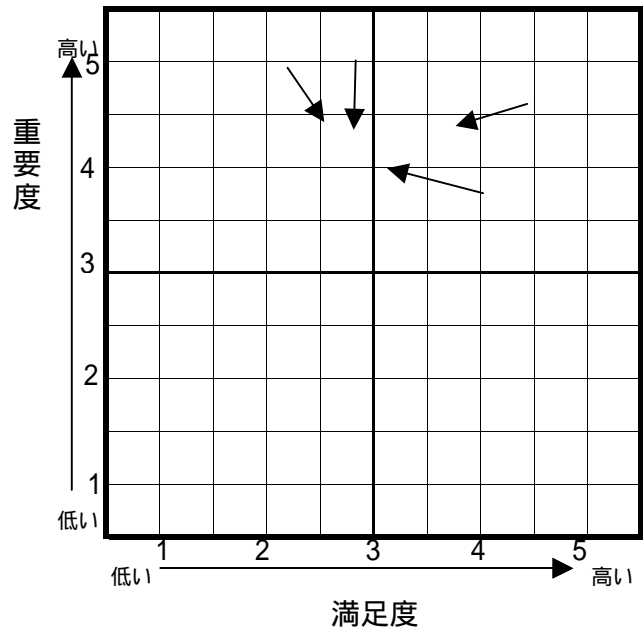
施策名	循環型社会の推進と環境衛生の充実			施策	24
評価担当部署	福祉環境 部	関係部署	福祉環境部(環境推進課)		
総合計画における上位政策	政策	輝くみどりのまち			

【施策の概要】

目的	ごみの減量化、再資源化のため分別収集の強化を図るなど、循環型社会の構築に向けた取り組みを推進します。さらに、市民一人ひとりの美化活動への意識を高めることにより、地球規模での環境問題に配慮したやさしい都市を目指します。また、環境衛生の充実を図るため、最終処分場、し尿処理場及び火葬場の適正管理・確保に努めます。
----	--

【市民アンケート結果】

項目	項目名	ごみの分別収集や集団回収など資源を大切に活動が活発である。			
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）			
	3.62 (-0.03)	4.29 (-0.03)			
項目	項目名	環境に対するモラル(道徳)の高い人が増えている。			
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）			
	2.59 (-0.03)	4.21 (-0.06)			
項目	項目名	地域や学校で、環境保全に対する活動が活発に行われている。			
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）			
	3.08 (+0.02)	4.02 (-0.02)			
項目	項目名	市の環境保全に対する取り組みが十分である。			
	満足度（前年度比）	重要度（前年度比）			
	2.89 (+0.04)	4.1 (-0.1)			



【成果指標の達成状況】

成果指標	指標名	ごみの減量化							
	測定方法	ごみの量(トン)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	9,226	9,386	9,257				H23	
	達成率	96.3%	105.6%	104.1%	0.0%	0.0%	0.0%	H28	
成果指標	指標名	資源物回収の徹底							
	測定方法	資源物回収量(トン)							
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	
	現状値	3,146	3,272	2,818				H23	
	達成率	93.0%	96.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	H28	

成果指標	指標名	環境学習出前講座						
	測定方法	環境学習出前講座回数(回)						
	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	目標値
	現状値	4	2	2				H23 8
	達成率	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	H28 12

【今後の方向性】

現状分析及び今後の施策展開	<p>温室効果ガスによる地球温暖化は、全世界的な問題になっている。私たちができることの第一歩として、資源物の分別収集を進めることにより、ごみの発生量の抑制、物の再利用やリサイクルの推進、廃棄物の適正処理などに努めなくてはならない。</p> <p>このため、循環型社会の構築に向けた取り組みを推進し、市民一人ひとりの美化意識の向上により、地球規模での環境問題に配慮したやさしい都市を目指す。なお、平成20年度は、市を上げて3R(リデュース・リユース・リサイクル)を強力に推進すべく啓発事業等に取り組んでいる。</p> <p>また、環境衛生の充実を図るため、最終処分場、し尿処理場及び火葬場等の適正管理・確保に努めていく。</p>
---------------	---

<p>総合評価(施策)</p> <p>A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ</p>
A

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費(千円)	今後の方向性		
			担当課による評価(当初)	最終評価(本部会)	備考
分別収集業務委託事業	環境推進課	47,600	B3	B3	
食品衛生協会補助金	環境推進課	720	A	A	
ゴミ集積施設設置費補助金	環境推進課	775	A	A	
古紙等資源集団回収奨励金	環境推進課	4,911	A	A	
不法投棄廃棄物処理事業	環境推進課	2,991	A	A	
動物死骸処理事業	環境推進課	1,968	A	A	
資源リサイクルステーション管理事業	環境推進課	2,866	B3	B3	
環境衛生自治推進協議会補助金	環境推進課	300	A	A	
資源物分別収集奨励金	環境推進課	5,235	A	A	

【今後の方向性】

現状分析及び 今後の施策展 開	農業生産基盤や農業用施設については今後維持管理修繕等が主となると思われる。生産の担い手については認定農業者を中心に集積による経営規模の拡大を図ると共に安定的な農業経営を目指す必要がある。併せて小規模農業者における経営、高齢者による経営の課題についても施策を考えていく必要があると考えます。 また、自給率を高める施策についても各種団体と連携を図りながら方策を見出す必要があると考えます。
-----------------------	---

総合評価(施策) A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ
C

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
一般農道事業補助金	農林課	11,825	B1	B1	
かんがい排水事業補助金	農林課	10,006	C	C	一般農道事業補助金へ統合
小規模災害補助金	農林課	3,882	A	A	
小土地改良事業補助金	農林課	1,278	C	C	一般農道事業補助金へ統合
農業施設維持管理補助金	農林課	416	B1	B1	
環境保全茶栽培事業補助金	茶業振興室	724	A	A	
遠州夢咲茶業振興連絡協議会補助金	茶業振興室	524	A	A	
茶園再編整備事業補助金	茶業振興室	1,214	A	A	
新技術導入事業補助金	茶業振興室	122	C	C	
水稲採種圃組合補助金	農林課	1,600	A	A	
水田受託組合補助金	農林課	830	A	A	
農業生産技術向上支援補助金	農林課	1,140	A	A	
農業生産物消費拡大事業補助金	農林課	760	A	A	
農業振興会補助金	農林課	2,707	A	A	
菊川市共同利用等農業機械導入補助金	茶業振興室	1,969	A	A	
へい獣処理補助金	農林課	412	A	A	
生産調整推進対策事業補助金	農林課	27,843	A	A	
ファームプランの会助成金	農林課	310	A	A	
有害鳥獣駆除補助金	農林課	0	A	A	
トマト黄化葉巻病対策事業費補助金	農林課	433	C	C	

【今後の方向性】

現状分析及び今後の施策展開	市内の観光資源には決して恵まれているとは言えないが、個々の優れた資源を見出し観光につなげていく必要がある。今後においてはリニューアルオープンする保養施設「小菊荘」等とのネットワーク、その他市内観光地とのネットワークの形成など、資源有効活用方策を検討し発信していく必要があると考えます。
---------------	--

総合評価(施策)

- A: 順調
- B: やや遅れ
- C: 遅れ

B

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
新市統一イベント「ODORA THE 菊川」	商工観光課	9,072	A	A	
横地城跡運営協議会補助金	商工観光課	248	C	C	H21から地域づくり交付金へ移行予定
火剣山開発委員会補助金	商工観光課	904	B2	B2	H21から地域づくり交付金へ一部移行予定
七曲池管理運営委員会補助金	商工観光課	448	C	C	H21から地域づくり交付金へ移行予定
西方ふるさとづくり推進委員会補助金	商工観光課	368	B2	B2	H21から地域づくり交付金へ一部移行予定
井成山整備委員会補助金	商工観光課	328	C	C	H21から地域づくり交付金へ移行予定
ホテルの里づくり補助金	商工観光課	738	B2	B2	H21から地域づくり交付金へ一部移行予定
菊川市観光協会運営事業費補助金	商工観光課	5,947	B1	B1	
全国横地さん大集合実行委員会補助金	商工観光課	-	(H19未実施)	(H19未実施)	H21から地域づくり交付金へ移行予定
小菊荘施設管理	商工観光課	59,398	指定管理者へ移行予定	指定管理者へ移行予定	
野外宿泊施設管理	商工観光課	2,639	市民との協働	市民との協働	

【今後の方向性】

現状分析及び 今後の施策展 開	国土利用計画・都市計画マスタープラン等により今後の菊川市の「調和のとれた土地利用」を市民と協働で策定していきます。用途地域内の土地利用の推進、農用地区域内の農地の適正配置により調和のとれた菊川市の土地利用が実現できると考えます。
-----------------------	--

総合評価(施策)

- A: 順調
- B: やや遅れ
- C: 遅れ

B

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
市営住宅(赤土団地)施設管理	施設管理課	14,250	直営	直営	
市営住宅(上本所団地)施設管理	施設管理課	45,512	直営	直営	
市営住宅(長池団地)施設管理	施設管理課	20,375	直営	直営	

- A : 現状のまま継続
- B 1 : 重点化
- B 2 : 縮小
- B 3 : 実施手段の改善
- C : 廃止・休止

【今後の方向性】

現状分析及び 今後の施策展 開	幹線道路及び市民要望に基づく生活道路の整備水準は低く、整備の必要性・重要性は十分認識しているが限られた予算の中であり、計画的に優先順位をつけ整備していきたいと考えます。 掛川浜岡線バイパスの整備については最重点事業として静岡県と連携を図りながら順調に推移している。現在は南側を主に推進しているが、今後は北側についても計画的に整備し、効果をあげていきたいと考える。 また、今後は富士山静岡空港の開港並びに企業進出等により交通の流れの変化も予想されますので、状況を調査しながら市道の整備を計画していきたいと考えます。
-----------------------	--

総合評価(施策) A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ
A

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
市道改良整備事業(市単独)	建設課	71,115	A	A	
市道舗装改良等整備事業(市単独)	建設課	49,587	A	A	
掛川浜岡線バイパス整備事業(合併特例債)	建設課	387,811	A	A	
市道公文名富田線整備事業(地特)	建設課	33,988	A	A	
市道三沢本線整備事業(合併特例債)	建設課	37,128	A	A	H20で完了
井矯堂線整備事業	建設課	-	(H19未実施)	(H19未実施)	
市道改良補助金	建設課	13,349	B1	B1	
市単独交通安全施設整備事業	建設課	21,128	B1	B1	
街路朝日線整備事業	都市計画課	725,734	A	A	

A : 現状のまま継続
 B1 : 重点化
 B2 : 縮小
 B3 : 実施手段の改善
 C : 廃止・休止

【今後の方向性】

現状分析及び 今後の施策展 開	公園・緑地の整備は都市景観の向上、市民への憩いの場の提供と共に災害時における防災活動拠点の役割りを併せ持つものである。しかし、管理方法の課題もあることは事実であり、今後は市民と協働や指定管理者制度の導入等も視野にいれ計画的に推進していきたいと考えます。
-----------------------	--

総合評価(施策) A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ
B

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
おがさセントラルパーク(都市公園)施設管理	施設管理課	5,927	指定管理者へ移行	指定管理者へ移行	
尾花公園施設管理	施設管理課	853	直営	直営	
南部農村公園施設管理	施設管理課	1,283	直営	直営	
菊川中央公園施設管理	施設管理課	1,442	指定管理者へ移行	指定管理者へ移行	
黒沢公園施設管理	施設管理課	1,633	直営	直営	
嶺田公園施設管理	施設管理課	133	市民との協働	市民との協働	
都市公園18箇所施設管理	施設管理課	12,948	直営 市民との協働	直営 市民との協働	
その他公園(11箇所)施設管理	施設管理課	2,814	市民との協働	市民との協働	

【今後の方向性】

現状分析及び 今後の施策展 開	<p>交通安全の推進 現在も昨年度に引続き、菊川市交通安全会や交通指導員による交通安全啓発活動、パンフレットや同報無線・交通安全指導者による広報活動を実施しており、今後も啓発活動を充実させ続ける。</p> <p>事故発生を防ぐには、実際に事故が発生した箇所及び危険と思われる箇所を検証し、どこに原因があるのかを分析し、防止に向けた対応をするようにしていかなければならない。</p> <p>公共交通の整備 18年度のコミュニティバス実証実験を経て、19年度にはジャンボタクシー7台による本格実施に取り組んだ。3年間の契約を条件とすることにより、事業費のコストを抑え、また、路線拡大により利用者数を増やすことに成功した。</p> <p>今後においては、住民要望にすばやく柔軟に対応できるようにするのが課題である。また、利用者数を増やすため積極的なPRも引き続き力をいれなければならない。</p>
-----------------------	---

総合評価(施策)

- A: 順調
- B: やや遅れ
- C: 遅れ

A

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
交通安全会補助金	安全課	424	A	A	
交通安全推進事業	安全課	4,808	A	A	
コミュニティバス推進事業	地域支援課	33,833	A	A	
バス路線維持補助金(萩間線)	総務課	1,801	A	A	
バス路線維持補助金(御前崎線)	総務課	112	A	A	

- A: 現状のまま継続
- B1: 重点化
- B2: 縮小
- B3: 実施手段の改善
- C: 廃止・休止

【今後の方向性】

<p>現状分析及び 今後の施策展 開</p>	<p>防災：自主防災会の防災資機材の充実を図るとともに、防災意識を高めるため自主防災会と連携した防災体制を今後も強化していく。また、耐震性貯水槽や同報無線などの防災基盤整備も同様に整備していかなければならない。</p> <p>防犯：青色回転灯パトロール車による犯罪未然防止に努めている。防犯灯設置など環境整備を自治会と協力して進めるとともに、防犯意識の高揚啓発や地域ぐるみの防犯活動も推進していかなければならない。地域の防犯活動への支援は、警察及び関係組織と連携していかなければならない。</p>
--------------------------------	--

<p>総合評価(施策)</p> <p>A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ</p>
<p>A</p>

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
防犯灯設置・管理事業	安全課	8,012	A	A	
貯水槽整備事業(国庫補助)	安全課	24,423	A	A	
消防施設整備事業(市単独)	安全課	2,232	A	A	
地震防災対策推進事業	安全課	3,198	A	A	
消防施設整備費補助金	安全課	1,336	A	A	
ため池洪水調整等事業費補助金	安全課	1,572	A	A	
自主防資機材整備費補助金	安全課	15,874	A	A	
広報安全等対策事業(広報事業)	企画政策課	4,174	B2	B2	
広報安全等対策事業(調査事業)	企画政策課	2,438	B2	B2	

A : 現状のまま継続
B1 : 重点化
B2 : 縮小
B3 : 実施手段の改善
C : 廃止・休止

【今後の方向性】

現状分析及び今後の施策展開	近年の異常気象により、局地的な大雨や台風による水害の頻発・拡大が懸念されることから、国土交通省及び静岡県に対し、引き続き河川整備の要望活動を実施する。また、大規模地震に備えるべく建築物の耐震化対策を促進する必要がある。
---------------	---

総合評価(施策)

- A: 順調
- B: やや遅れ
- C: 遅れ

B

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
河川改修整備事業(市単独)島の川	建設課	5,194	A	A	
河川改修補助金	建設課	5,469	B1	B1	
河川改修促進連合協議会補助金	建設課	3,816	B1	B1	23-2(自然環境の保全)に再掲
河川愛護事業補助金	建設課	3,926	C	C	23-1(自然環境の保全)に再掲
建築物等耐震改修促進事業	都市計画課	1,859	B3	B3	
既存建築物耐震診断事業補助金	都市計画課	2,549	A	A	
ブロック塀等耐震改修促進事業補助金	都市計画課	959	A	A	
耐震補強補助金	都市計画課	3,639	A	A	

【今後の方向性】

<p>現状分析及び 今後の施策展 開</p>	<p>・救急車到着までの応急処置が救命率の向上に大きな効課が期待されるため、1人でも多く社会復帰できるよう、家族単位で1人以上が心肺蘇生法の修得をするために自治会単位の講習会へ力を入れていく。</p> <p>・生活環境の変化により複雑多様化する災害現場において、日頃から防火意識や予防対策が火災などの災害を未然に防ぐ効果は大きく、今後も市民への予防広報の実施と事業所等への安全体制の指導強化を推進する。また、既存住宅への住宅用火災警報器の設置義務が来年の5月31日までとなるので、再度自治会単位に説明会を開催し設置推進の協力依頼を行っていく。</p> <p>・地域防災の要である消防団については、近年消防団員の確保が厳しい現状であり、また、事業所に勤める団員が多い。消防団協力事業所表示制度を実施し、事業者の理解をいただき消防団員が活動しやすい環境を作り、また、消防本部・消防署、自主防災組織などとの防災体制の強化を図ると共に、資機材の整備を行ない消防団活動の活性化を図っていく。</p>
--------------------------------	--

<p>総合評価(施策)</p> <p>A: 順調 B: やや遅れ C: 遅れ</p>
<p>A</p>

【施策構成事務事業の展開】

事務事業名	担当課	総事業費 (千円)	今後の方向性		
			担当課による 評価(当初)	最終評価 (本部会)	備考
火災予防推進事業(防火管理講習会実施)	予防課	3,567	B1	B1	
火災予防推進事業(予防査察)(1)	予防課	2,800	A	A	
火災予防推進事業(予防査察)(2)	消防署	9,464	A	A	
火災予防推進事業(広報)(1)	予防課	4,794	A	A	
火災予防推進事業(広報)(2)	消防署	10,355	A	A	
火災予防推進事業(一人暮らし高齢者(80歳以上)宅防火診断)	消防署	8,969	A	A	
火災予防推進事業(危険物施設査察)	予防課	2,809	A	A	
分団運営費交付金	消防総務課	7,230	A	A	
救急講習業務	消防署	33,307	B3	B3	